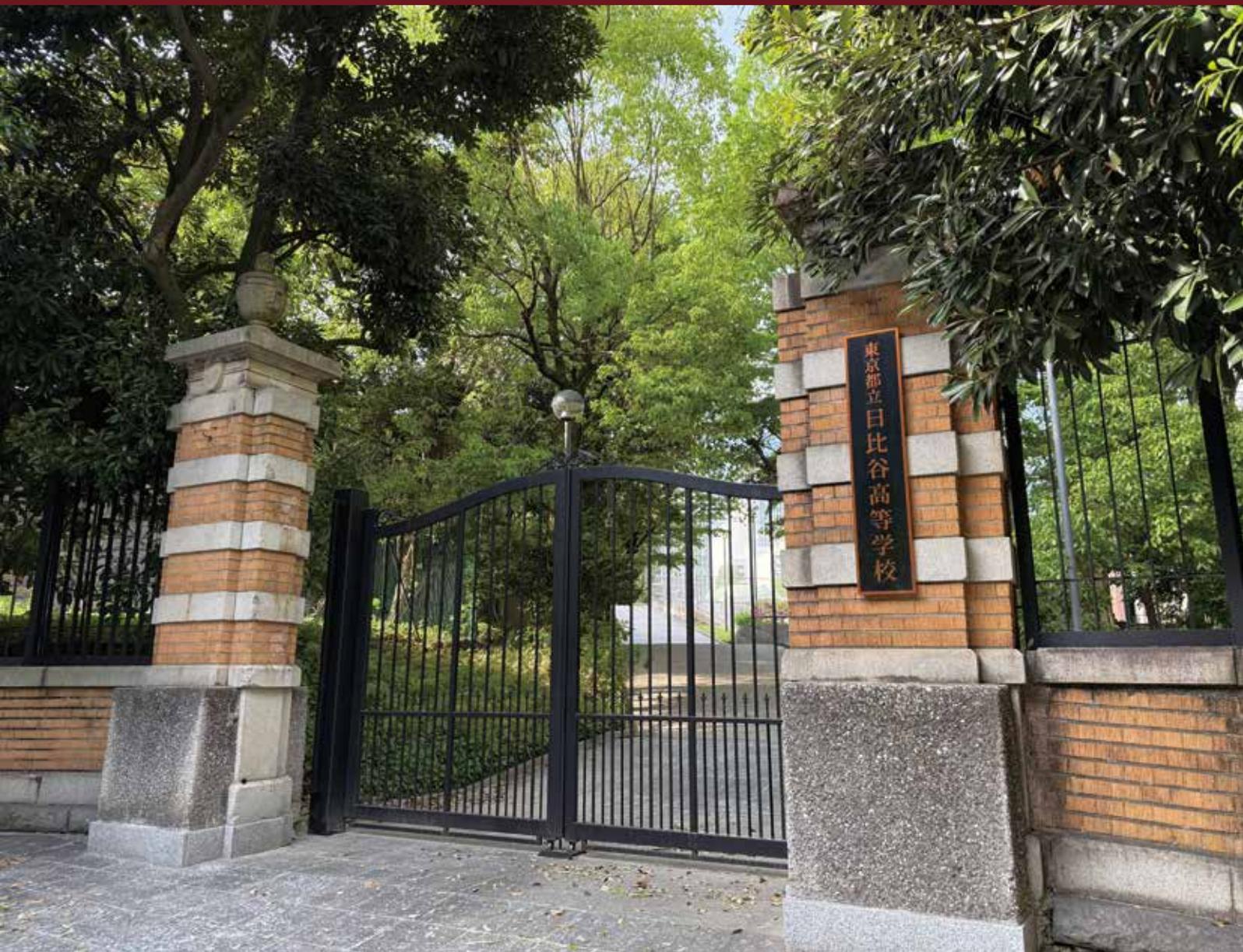




# 東京都立日比谷高等学校

令和8年度版 学校案内



# 日比谷

# 本校を目指す中学生へ



## 「学問の本質に触れる楽しさ」と「知の創造」

校長 萩原 聡

本校は、将来、日本のみならず世界で活躍するリーダーたる高い資質をもった生徒に対し、自律的人格を涵養し、豊かな教養を身につけさせ、国家や社会に対する責任と使命を自覚させるとともに、難関国立大学等への進学希望も実現させることのできる学校として、東京都教育委員会から進学指導重点校に指定されています。

グローバル社会の進展や人工知能の飛躍的な進化など急速に変化する社会にあつて、習得した様々な知識・技能を活用し、新たな価値を生み出す創造的・論理的思考力、物事の真理や意味を追究する探究力、情報活用能力等を伸ばさせることが期待されています。特に、グローバル化に対応するためには、実践的な語学力の習得とともに、日本人としての自覚と誇りを涵養すること、豊かな国際感覚を醸成すること、他者の考えを理解した上で自らの考えを論理的に説明し、説得することのできる能力を身につけることも必要です。

日比谷高校の教育課程は全科目履修型の教養主義で、そのうえで様々な取組を行っています。文部科学省指定のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業の一環としての探究活動では、1年生

全員が「理数探究基礎」を履修します。「理数」を冠した科目ではありませんが、自然科学だけでなく人文科学、社会科学もテーマにできること、個人研究ではあるものの、教員を含む小グループ内での意見交換ができることなどが、協働を重視する本校らしい取組です。また、東京都教育委員会から Tokyo Metropolitan Global Education Network School Premier 20 (GE-NET20) や海外学校間交流推進校の指定も受けており、世界に視野を広げる様々なプログラムも実施しています。本校は、生徒自身が、授業、学校行事、部活動、生徒会・委員会活動など学校生活全般を通して、新たな知や価値を創造する上で土台となる確かな学力と教養を身につけ、様々な取組に対しチームで協働作業を行う中で人間性を育み、卒業後も将来にわたり飛躍を求めて学び続け、人類の平和や社会の発展に貢献できるグローバルリーダーの育成を目指しています。

日比谷高校は、高い志をもった生徒たちが集い、切磋琢磨しながら互いに高め合う学校生活を送っています。自らの能力を日比谷高校でより一層伸ばせようという高い意欲をもつ皆さんを待っています。

## スクール・ミッション

「自律的人格」「学習と教養」「責任と協調」「心身の健康」「文化と平和」を教育目標に、自主自律、文武両道の精神を貫くとともに、学問の本質に触れる楽しさや知的好奇心を喚起する様々な取組を行い、21世紀を逞しく切り拓くグローバル・リーダーとして活躍する人材を育成します。

## 教育目標

- 1 自律的人格**  
自律的で個性豊かな、しかも調和のとれた人格を確立し、進んでものごとを実行していく態度を養う。
- 2 学習と教養**  
自主的・自発的な学習活動と特別活動を通して知性と情操を磨き、将来社会の有為な形成者となるための豊かな教養を身につける。
- 3 責任と協調**  
学校組織の一員として自己の責任を果たすとともに、互いの立場を考え、協力していく態度を養う。
- 4 心身の健康**  
清潔で健康な生活を心がけるとともに、進んで心身を鍛え、困難にあつてもくじけない強い気力を養う。
- 5 文化と平和**  
わが国ならびに世界各国の文化と伝統の理解を深めるとともに、国際協調の心構えを養う。

# カリキュラム

本校は、前期・後期の二期制で、三大行事の体育大会、合唱祭、星陵祭はいずれも前期に行われ、後期は教科学習に集中します。

年4回の定期考査は、概ね次の時期になります。

5月下旬	前期中間考査
9月上旬	前期期末考査
12月上旬	後期中間考査
3月上旬	後期期末考査 (1・2年生のみ)

完全学校週5日制のもと、1日7時間制を採用し、週35時間の時間割を組んでいます。

授業の1単位時間は45分ですが、密度の濃い授業により50分授業と同様の効果を目指しています。



## 時間割例（1年生）

		月	火	水	木	金	土	
1	8:25 ~9:10	英語 英語コミュニケーションⅠ	数学	英語 英語コミュニケーションⅠ	地学基礎	論理・表現Ⅰ	土 曜 講 習	
2	9:20 ~10:05	体育	地理総合	数学	数学	生物基礎		
3	10:10 ~10:55	体育	英語 英語コミュニケーションⅠ	数学	公共	生物基礎		
4	11:05 ~11:50	地学基礎	現代の国語	公共	地理総合	芸術		
5	12:00 ~12:45	現代の国語	生物基礎	論理・表現Ⅰ	歴史総合	芸術		
6	13:30 ~14:15	数学	情報Ⅰ	言語文化	言語文化	歴史総合		
7	14:25 ~15:10	数学	情報Ⅰ	T	保健	言語文化		
8	15:20 ~16:05	人間と社会		理数探究基礎				
9	16:05 ~16:50	不定期に実施						

注1 「数学」は、前期が「数学Ⅰ」、後期が「数学A」及び「数学Ⅱ」。  
注2 「T」は、ホームルーム活動（本校は「学級タイム」と呼称）。  
注3 「芸術」は、「音楽Ⅰ」「美術Ⅰ」「書道Ⅰ」から選択。

## 令和8年度入学生 教育課程表

1年次共通必修	単位数	2年次共通必修	単位数	3年次文類型必修	3年次理類型必修	単位数
現代の国語	2	論理国語	2	論理国語		2
言語文化	3	古典探究	3	政治・経済		2
地理総合	2	日本史探究	2	体育		3
歴史総合	2	世界史探究	2	英語コミュニケーションⅢ		4
公共	2	数学Ⅱ	3	論理・表現Ⅲ		2
数学Ⅰ	3	数学B	1	古典講読	5	7
数学Ⅱ	1	数学C	1	世界史演習	4※	
数学A	2	物理基礎	3	日本史演習		2
生物基礎	3	化学基礎	3	地理探究	2	
地学基礎	2	体育	3	英語コミュニケーションⅢ		2
体育	2	保健	1	総合的な探究の時間	1	
保健	1	芸術Ⅱ (音美書)	2※	数学Ⅲ	5	4※
芸術Ⅰ (音美書)	2※	英語コミュニケーションⅡ	4	数学C演習	2	
英語コミュニケーションⅠ	3	論理・表現Ⅰ	2	物理	4	4※
論理・表現Ⅰ	2	情報Ⅰ	2	化学	4	
論理・表現Ⅱ	2	理数探究基礎	1	生物	4	1
家庭基礎	2	人間と社会	★	理学	4	
人間と社会	★	自由選択科目(0~11)		物理学	4	1
		自由選択(0~2)		地学基礎演習	1	
		第2外国語	2	化学基礎演習	1	1
		理数探究	2	生物基礎演習	1	
				地学基礎演習	1	1
				理数探究発展	1	

自由選択科目（0～11）			
古典演習	2	物理	4
日本史演習	4	物理基礎演習	1
世界史演習	4	化学	4
地理演習	2	化学基礎演習	1
地理探究	4	生物	4
倫理	2	生物基礎演習	1
政経特講	2	地学基礎演習	1
文系数学演習	4	理数探究発展	1
理系数学演習	2		

25～36単位

35単位

自由選択（0～2）  
第2外国語 2  
理数探究 2

35～37単位

注1 1単位とは、通年の場合週に一時間（45分）授業があることを示します。  
注2 「人間と社会」を「総合的な探究の時間」にあてます。  
注3 ※はそれぞれの枠内で1科目を選択します。  
注4 「第2外国語」は、ドイツ語、フランス語、中国語、ハンゲルの中から選択します。  
注5 ☆「人間と社会」は、1、2年次の2年間で1単位を履修します。  
注6 自由選択科目を履修しなくても、卒業に必要な単位を修得可能です。

# 教科指導 (令和5年度以前の写真も含まれています)

## 国語

表現されたものを正確に理解し、理解したことを的確に表現する力、それが国語の学習で養う力です。これは、すべての教科学習の基礎となる力とも言えるでしょう。

国語科では、古典を含むさまざまな良質の文章を、副読本や問題集を活用しながら幅広く段階的に読み進めることで、語彙力を高め論理的思考力を伸ばす指導を工夫します。

また、一斉の講義だけではなく、グループ学習や発表学習を積極的に採り入れることで相互に個性を高め合い、総合的な国語力が伸長する授業を展開しています。



## 地歴・公民

【歴史総合】「日本史」と「世界史」を融合して日本と世界の歴史を関連づけ、資料を活用しながら、近現代の歴史を考察します。

【地理総合】身近な「もの」や「地域」から世界全体に至るまでの事象を扱いながら、地理的な見方や考え方を養います。

【公共】現代の諸課題について倫理・法・政治・経済的に追究したり解決方法を探究したりします。また主権者教育、消費者教育、金融教育にも取り組みます。

【日本史探究】史・資料を重視し多用することで、素材に基づいて自ら考える学習を行います。

【世界史探究】進学指導の充実を図る中で、歴史学の基礎的教養の獲得を目指します。

【政治・経済】政治・経済分野の基礎的知識の習得と共に、それを生かした見方・考え方を身につけます。



◀ 社会科ホールの世界地図

## 数学

1年次は、教科書や問題集を用いて基礎力を充実徹底させます。

2年次は、基礎に加えて、より発展的な内容の習得も目指します。また、生徒の多様な進路に対応した習熟度別多展開授業を行います。1・2学年で、全員が大学入学共通テストに十分対応できる力を身につけることを目標とします。

3年次理系選択においては、「数学Ⅲ・数学C演習」を必修とし、他は自由選択となります。「数学Ⅲ・数学C演習」は前期で教科書の内容を終え、後期は大学入試問題演習を行い、国公立大理工系・医学系学部にて現役合格可能な学力の習得を目標とします。また、文系選択においては、「文系数学演習」で年間を通して大学入試問題演習を行います。



## 理科

自然に対する関心と探究する力を高めることを第一の目標にしています。

【地学】地球や宇宙に対する関心を深め、自然を総合的に見る能力を育てます。

【生物】生命と生物世界の不思議さを解き明かす能力を高めます。

【物理】基本原理・法則を理解させ、物理学的に探究する能力を高めます。

【化学】化学の基本概念や原理・法則を理解させ、化学的に探究する能力を高めます。



## 英語

1年次では、基礎力の養成と積極的なコミュニケーションを図る姿勢を養い、2年次では書き手の意図を読み取る力と、自分の考えを明確に文章に表す力を伸ばします。3年次では、応用力の養成を目指し、特に読む力と書く力を強化します。

これらの目標実現のために「論理・表現」では少人数のクラス編成をとります。また英米の教材や四技能検定試験なども取り入れて、単に大学受験だけでなく将来社会で必要とされる英語力がつくような授業を行います。



## 保健体育

【体育】運動の基礎を学ぶとともに体力の向上を図り、運動に対する興味・関心を高める事を目標としています。豊かな心身の育成と、運動を含めたあらゆることに主体的に行動できるようになる事を目指します。

【保健】健康・安全についての理解を深め、健康的な生活が送れるよう、心身の健康の保持増進に関する知識や実践力を養います。



## 芸術

【音楽】発声や奏法の基礎技能を学び、豊かな響きと、美しいハーモニーを探求します。独唱、合唱の他に、ア・オペラ重唱、アンサンブル活動（リコーダー他）等の舞台創作にも取り組み、表現力・創造力を高め、感性を磨いていきます。

【美術】1年次は、デッサン・油絵・デザインなど、美術の基礎力となる描く力を高める学習を行い、2年次は絵画・彫刻・映像などの学習を行います。

【書道】様々な書体・書風の古典作品を通じ、多様な表現技法を身に付け、創意工夫を凝らした書作品をつくり上げます。2年次ではグループでの制作・研究活動など1年次に学んできたことをさらに深めます。



## 家庭

これからの人生や生活を自分らしく送ることができるよう生きていく力を学ぶ教科です。

家族関係や消費生活、衣・食・住、保育、環境などの授業を通じ、生活の自立に必要な知識や技能を身に付けると共に、社会や世界も見定め、自分の生活設計を考えていきます。



## 情報

情報科では、問題の発見・解決に「情報」を適切かつ効果的に活用する資質や能力を育成します。具体的な学習内容としては、情報社会・問題解決・コミュニケーション・情報デザイン・コンピュータ・プログラミング・情報通信ネットワーク・データの活用があります。IoT、ビッグデータ、AIなどが活用される社会において、基礎となる学びです。情報科での学びを通して、価値創造型の問題解決能力を身につけましょう。



## 第2外国語

ドイツ語、フランス語、中国語、\*ハングルの中から選択できます。

ドイツ語、フランス語は、それぞれドイツ人の先生、フランス人の先生とのティームティーチングです。発音と会話を中心とした学習を行います。

中国語、ハングルでは、読み書きになれるとともに、それぞれの文化について理解を深めていきます。

\*本来「ハングル」という名前の言語はありませんが、本校ではKoreanの言語をこのように呼んでいます。



# SSH スーパーサイエンスハイスクール

本校のSSHの特徴は、全校生徒が対象であり、文系理系に拘わらず誰でも自主的に希望すれば参加活動出来るのが大きな特徴です。東京大学をはじめとする近隣の大学や研究機関と連携を図り、学問や科学技術の最先端の現場に直接触れ、第一線の研究者の助言・指導や講義を受けられる機会を設け、生徒の進路選択や学問追究のモチベーションの高揚に努めています。1年次では全員が「理数探究基礎」に取り組むとともに、2年次では「理数探究」、3年次では「理数探究発展」を選択科目として設置し、探究活動を実施しています。SSH指定19年目となり、卒業生の中には、すでに博士課程や海外の大学に進学・留学する生徒も大勢出始めています。

## SSHの具体的な取組の一部紹介（実施例）

- ・ 高大連携、産学連携に向けた取組  
SSH特別講演会や大学教授による出張授業・研究室訪問と研究体験  
創造性を育む探究的な授業の指導法の開発
- ・ 国際化に向けた取組  
海外の大学・企業との交流や連携  
英語による各種講演会  
生徒の英語によるプレゼンテーション
- ・ 生徒による課題研究活動の推進  
各種研究発表会参加  
科学オリンピック・コンテスト等への積極的参加

## （過去の取組の様子）



「理数探究」中間構想発表会



SSH特別講演会



「理数探究基礎」ポスター発表



東京大学理学部化学科訪問



理化学研究所訪問



英語による現代物理学講座



城ヶ島地質巡検



SSH臨海実習



SSH都内指定校発表会



SSH成果報告会

## SSH国内派遣研修



大島フィールド実習（地層断面）



つくばサイエンスツアー



北海道研修（大雪山旭岳での実習）



福島研修（中間貯蔵工場情報センター）

# GE-NET 20

「人類の平和や社会の発展に貢献できるグローバルリーダーの育成」を目標に掲げ、海外派遣研修の実施や国際理解教育の推進、外国語教育の充実など、積極的に事業を展開しています。東京都教育委員会からは、令和4年度より「海外学校間交流推進校」、令和7年度より「Tokyo Metropolitan Global Education Network School Premier 20」の指定を受けています。

## 具体的な取組の一部紹介

- ①グローバルリーダー育成研修
- ②ミチュホル外国語高等学校（韓国）との姉妹校連携による相互訪問交流
- ③その他の事業  
大学や研究所、大使館などの外郭団体とも連携し、研修や講演会等を実施
- ④英語教育の充実（JET英語指導員の配置、オンライン英会話、ケンブリッジ英語検定の受験など）

### ①グローバルリーダー育成研修



ハーバード大学にて



MIT教授による講義



MITにて



MITにて提言発表



ハーバード大にて起業家との交流



ウォール街にて講義



アспен研究所での提言発表



国際連合本部見学

### ②姉妹校交流



韓国・ミチュホル外国語高校での交流



日本・日比谷高校での交流



### ③その他の事業（一部紹介）



ハーバードプライズブック授与式



オンライン英会話（1年）



ディベート大会参加



JETによる特別授業  
『米国最高裁判決について』



経産省訪問「福島の復興への取組」



三井住友銀行本店訪問



メキシコ大使館文化交流



産官学連携事業

# 学校行事 (令和5年度以前の写真も含まれています)

4	<p>前期始業式 入学式 生徒会役員選挙 健康診断 生徒総会</p>
5	<p>遠足 体育大会 前期中間考査</p>
6	<p>合唱祭</p>
7	<p>英語スピーチコンテスト 夏季休業（～8月） 夏期講習 部活動合宿 夏季校外伝統行事 ・臨海教室（千葉勝山寮） ・夏山キャンプ</p>
8	<p>夏期講習 部活動合宿 グローバルリーダー育成海外研修</p>
9	<p>前期期末考査 卒業生講演会 星陵祭 前期終業式</p>

## 三大行事

5月の体育大会、6月の合唱祭、9月の星陵祭は日比谷高校「三大行事」と呼ばれています。生徒自らが考え、主体的に作り上げる伝統的な行事です。

- ◀ 入学式
- ▼ 体育大会



▼ 合唱祭



## 校外伝統行事

臨海教室、夏山キャンプ、スキー教室は、長期休業期間中に希望者を募って実施する、伝統的な校外行事です。日比谷のOB・OG組織が指導を行います。



臨海教室



臨海教室



後期始業式  
 実力テスト  
 進路講演会  
 姉妹校交流（韓国受入）

10



後期中間考査（11～12月）

11

冬季休業（～1月上旬）  
 冬期講習  
 冬季校外伝統行事  
 ・スキー教室（長野県志賀高原）

12



▲ 星陵祭

冬期講習

1

後期期末考査（1・2学年）  
 （2～3月）

2



▼ 卒業式



卒業式  
 修学旅行（2学年）  
 星陵セミナー（2学年）  
 球技大会  
 修了式  
 春季休業  
 春期講習  
 姉妹校交流（韓国訪問）

3



夏山キャンプ



スキー教室

# 部活動 (令和5年度以前の写真も含まれています)



男子バスケットボール部



ラグビー部



柔道部



女子バレーボール部



女子バスケットボール部



サッカー部



剣道部



男子バレーボール部



水泳部



陸上競技部



弓道部



硬式野球部



物理地学研究部



箏曲部



音楽部（合唱班）



音楽部（オーケストラ班）



天文部



茶道部

### 運動部

弓道部・柔道部・剣道部・硬式野球部  
 サッカー部・ラグビー部・陸上競技部  
 硬式テニス部・ソフトテニス部  
 バドミントン部・ダンス部  
 男子バスケットボール部  
 女子バスケットボール部  
 男子バレーボール部  
 女子バレーボール部  
 卓球部・水泳部

### 文化部

音楽部（オーケストラ班・合唱班）  
 茶道部・生物研究部・天文部  
 軽音楽部・箏曲部・美術研究部  
 棋道部・演劇部・化学探究部  
 雑草研究部・物理地学研究部  
 漫画芸文部・写真部・クイズ研究部  
 ESS 同好会

## 令和6年度 部活動・SSH など主な活動実績

剣道	関東高等学校剣道大会 東京都予選個人の部ベスト16 全国高等学校剣道大会 東京都予選団体の部（男子）ベスト64	卓球	関東大会予選男子団体 ベスト64 男子シングルス 6回戦敗退（ベスト128） インターハイ予選 男子団体 ベスト64 男子シングルス 6回戦敗退（ベスト128） 女子ダブルス Bクラス ベスト8 地区別大会 東地区男子団体 ベスト16 国公立大会 男子団体 ベスト32 女子団体 3回戦敗退 男子シングルス 第3位 新人大会男子団体 ベスト64 男子シングルス 6回戦敗退（ベスト128） 第71回千代田区卓球選手権大会 高校男子の部 シングルス 優勝 高校女子の部 シングルス 優勝 八王子近郊高校卓球大会 女子シングルス 第3位
柔道	東京都国公立大会 60キ口級 優勝 東京都国公立大会 団体戦 5位 全国高等学校柔道選手権東京都大会 60キ口級 5位 東京都ジュニア選手権大会出場 60キ口級 全国高校選手権女子団体東京都大会出場	硬式野球	春季大会本大会出場
サッカー	東京都総合体育大会支部（3、4地区）予選 2回戦進出 全国高校サッカー選手権大会東京都大会 1次予選ブロック決勝進出 東京都第4地区新人選手権大会参加 東京都4地区ユースリーグ参加	ラグビー	令和6年度春季大会出場 令和6年全国7人制大会東京都予選出場 令和6年度全国大会東京都予選出場
陸上	東京都高校選抜陸上競技大会出場 東京都高校新人陸上競技大会出場	硬式テニス	東京都高等学校テニス選手権大会 男子シングルス 5回戦進出 1名 東京都高等学校テニス選手権大会 女子団体 3回戦進出 都立対抗テニス大会 男子団体 3回戦進出 東京都高等学校新人テニス大会 男子シングルス 4回戦進出 1名 東京都高等学校新人テニス大会 女子団体 3回戦進出 都立高校テニス選手権大会 男子シングルス 5回戦進出 1名 都立高校テニス選手権大会 男子ダブルス 5回戦進出 1ペア
水泳	東京都十六校水泳大会 女子100Br A決勝6位 東京都十六校水泳大会 女子50自由形 A決勝5位 東京都十六校水泳大会 男子100バタフライ B決勝2位 東京都十六校水泳大会 女子200Br タイム決勝7位	生物研究	磯の観察会実施 干潟の観察会実施 東京都生物部交流会参加
男子	新人戦第1支部大会 3回戦進出 バスケットボール 春季大会東京都予選 4回戦進出 インターハイ予選 5回戦進出（ベスト64）	音楽部合唱班	第91回NHK全国学校音楽コンクール 高等学校の部 東京都予選「金賞」 第91回NHK全国学校音楽コンクール 高等学校の部 東京都本選「優良賞」 東京都高等学校文化祭音楽部門第1地区大会、中央大会 東京春のコーラスコンテスト2025 ユース部門混声「優秀賞」 弥生コンサート開催（第3回定期演奏会）
男子	関東大会東京予選出場	軽音楽	令和6年度東京都高等学校文化祭軽音楽部門大会 中央大会進出
バレーボール	東京都体育大会兼国体選手権考会出場 新人大会出場	演劇	令和6年度 東京都高等学校演劇連盟短編演劇発表会 優良賞 令和6年度 第10回ハイスクール劇王高校生短編演劇競技大会 優秀賞
女子	春季大会予選春季2部大会出場	棋道	第60回全国高等学校将棋選手権大会 東京地区予選個人（女子）優勝 2024年度 東京都高等学校文化祭将棋部門中央大会 （全国高文連将棋新人大会東京地区予選関東大会東京予選）個人（女子）準優勝 第35回関東地区高等学校文化連盟将棋大会 出場 第33回全国高等学校文化連盟将棋新人大会 出場
バレーボール	東京都総体予選出場 夏季大会出場 新人選手権大会出場	化学探究	SSH 全国生徒発表会代表参加 第7回グローバルサイエンティストアワード 夢の翼「株式会社ソラシドエア賞」受賞
ダンス	第18回 日本高校ダンス部選手権 新人戦 東日本大会 出場	写真	第47回東京都高等学校文化祭写真部門地区大会 佳作一作品 第47回東京都高等学校文化祭中央大会 入賞一作品

# 歴史と伝統・記念資料館・先輩方

本校は明治11(1878)年9月26日に本郷区(現在の都立工芸高校付近)で開校しました。その後、幾度かの校地変遷を経て、明治32(1899)年に日比谷公園の隣接地に移り、翌々年、校名も東京府立第一中学校になりました。そして、昭和4(1929)年に「星が岡」と呼ばれる高台の永田町校舎に移転しました。この地は江戸時代には岸和田藩主岡部家、大正時代には実業家村井吉兵衛の屋敷であったところで、村井邸の正門と石垣、倉庫(現 記念資料館)が現存し「千代田区景観まちづくり重要物件」に指定されています。昭和25(1950)年、日比谷高校に校名を変更し、男女共学の都立高校として現在に至っています。本校は昭和53(1978)年に創立100周年を迎え、4年の歳月をかけて校舎を全面改築しました。そして、令和10(2028)年には創立150周年を迎えます。第10代校長川田正激は英国の私立学校イートン校をモデルに府立一中の礎を築き、「文武両道」の理念と、「自主・自律の精神」の校風が培われました。その理念と校風は連綿と受け継がれ、本校の伝統となっています。

卒業生には横山大観(明治18年卒 日本画家)、谷崎潤一郎(明治38年卒 作家)、濱田庄司(大正2年卒 陶芸家)、大佛次郎(大正4年卒 作家)、小林秀雄(大正9年卒 評論家)、丸山眞男(昭和6年卒 政治学者)、江藤淳(昭和28年卒 評論家)、庄司薫(昭和31年卒 作家)、塩野七生(昭和32年卒 作家)、ノーベル生理学・医学賞受賞者の利根川進(昭和33年卒)など、各界にわたり多くの著名人を輩出しています。夏目漱石も少年時代の一時期を府立一中で学びました。昭和53(1978)年には村井邸の美術館倉庫を改修した創立百周年記念資料館が開館し、本校の歴史と伝統を展示紹介しています。



日比谷高校旧校舎



日比谷高校正門



濱田庄司作 大壺



横山大観作「心神」



## 大望遠鏡「すばる」を誕生させた 小平 桂一 先輩

小平氏は本校を昭和30年に卒業した先輩で、現在、東京大学名誉教授です。

先輩は、国立天文台長として在任中に半生を懸けて、科学者・技術者・起業家・官僚・政治家といったさまざまな人たちと協力しあい、ハワイ島マウナケア山頂(外国領土)に単一鏡としては世界一の口径の大望遠鏡「すばる」建設を実現しました。世界中の夢をせおった人類の眼「すばる」の構想から完成まで、20年の歳月がかかりました。この実行力の源は日比谷高校で培われたと先輩は述べています。また、他にも恒星のスペクトル解析によって星の物理モデルを構築する恒星の研究なども行なっ

ているばかりでなく、本校の伝統行事・勝山臨海教室の古式泳法・神伝流の達人でもあります。

平成10年に小惑星6500番に「KODAIRA」と命名、平成11年に菊池寛賞受賞、平成13年にカール・シュヴァルツシルト賞(ドイツ国際天文学会)受賞など御活躍中です。そして日比谷高校の在校生へ、夢の実現に向けて信念を貫くことをよとして、「己を磨け、自分を信じて頑張れ!自分を生き抜け!」とメッセージを力強く発信し、母校を応援されています。



すばる望遠鏡がある国立天文台ハワイ観測所

# 星陵セミナー ～ ようこそ先輩 ～

本校では、「総合的な探究の時間」での進路探究の一環として2年生3月に「星陵セミナー」を実施しています。

日比谷高校の基本的姿勢の一つに、生徒にとって学校は深い知識と考える力を楽しむ場であるということがありません。

この星陵セミナーは、日比谷高校の諸先輩方の専門力が、

現役生徒の活動に示唆を与えられる場となっています。本校の同窓会である「如蘭会」の協力を得て、各分野にわたり卒業生を講師として配置し、生徒の選択により1教室10～20名前後、2時間のゼミ形式で実施しています。

最先端で活躍されている先輩から直接講義を受け、あるいは質問ができ、生徒にとって大変有意義な時間です。

<p>法律 法律の道、法律家の道、法律家への道 弁護士（共永総合法律事務所/第二東京弁護士会） 長谷川卓也 平成2年卒</p>	<p>総合電機 新事業創出の現場から 三菱電機株式会社執行役員ビジネスイノベーション本部副部長 松原 公実 昭和62年卒</p>
<p>法律 法曹の中における検察官という仕事 検事としてのキャリア 東京地方検察庁検察官検事 白川 史哉 平成22年卒</p>	<p>空間・建築デザイン/デザイン教育・美術教育 教育とデザイン/共育のデザイン ～人を育む・人が育つ環境づくり～ NPO 東京学芸大学未来研究室副理事長 鉄矢 悦朗 昭和57年卒</p>
<p>経済（金融） 金融と社会の関わり 農林中央金庫 経営管理委員 田邊 昌徳 昭和46年卒</p>	<p>建築設計建築意匠 建築を目指して 東京大学名誉教授 岸田建築設計事務所所長 岸田 省吾 昭和45年卒</p>
<p>経営管理（商社） 挑戦と創造（総合商社で働く魅力とは何か） 元三井物産株式会社 井上 正敏 昭和48年卒</p>	<p>コスメチック研究開発 資生堂での化粧品開発 ～理系の学びが活きる舞台 株式会社資生堂 ブランド価値開発研究所 林田 啓佑 平成23年卒</p>
<p>教育・理科教育 理系の勧め 東京都教育庁指導部義務教育指導課理科教育推進支援員 牧野 順子 昭和48年卒</p>	<p>機械工学（精密機械工学） 趣味と生業の両立 元キヤノン株式会社 イメージコミュニケーション戦略企画センター所長 荒川 和彦 昭和48年卒</p>
<p>経営（起業） 夢をカタチに！ 起業のリアルな体験談 株式会社ロビーム 代表取締役社長 石原良太郎 昭和48年卒</p>	<p>プロジェクト開発、事業経営 宇宙は「夢」ではなく「事業」そのやりがいと面白さはどこに？ 元三菱電機 宇宙システム事業部長 稲畑 廣行 昭和48年卒</p>
<p>企業法務、人事、総務、経営管理全般 企業において働くということ 株式会社ヒューマンフォワード 代表取締役 柴田 実 昭和48年卒</p>	<p>医学（産婦人科） 医学を学ぶ先には何がある？ 多様化する社会の中で 馬込中央診療所 副院長兼産婦人科部長 中嶋 章子 昭和57年卒</p>
<p>金融・経済人事・教育国際協力 私の国際交流の経験を基に、皆さんと一緒にキャリアについて考えてみましょう 元みずほ信託銀行 白田 直哉 昭和46年卒</p>	<p>内科学・健康管理 医学部は楽しいか、医者の仕事も面白いのか ～脂質研究の話もしよう～ 医師・内科医 医療法人博仁会共済病院 健診センター 加園 恵三 昭和49年卒</p>
<p>マスコミ（主に出版、ライツ） 僕たちの人生が、一冊の本だとしたら！ 新潮社 コンテンツ事業室長 矢代新一郎 昭和57年卒</p>	<p>医学（緩和ケア） 人生でほんとうに大切なこと～4000人のがん患者と対話した精神科医が語る～ 公益財団法人がん研究会 有明病院 腫瘍精神科 部長 清水 研 平成2年卒</p>
<p>昆虫学 昆虫類の系統と進化を考える：比較発生学という視点 名城大学農学部生物資源学科昆虫学研究室助教 武藤 将道 平成22年卒</p>	<p>生物学・脳科学 大学で科学者として生きていく スタンフォード大学生物学科 M.Schniter 研究室博士研究員 鹿野 悠 平成22年卒</p>
<p>生成AI 未来を創る力：生成AIの最前線 日本マイクロソフト株式会社 技術戦略担当部長 西田 義秀 平成6年卒</p>	<p>新薬開発 新薬開発の現場 エキサイティングな熾烈な国際競争 元メルクセロー/株式会社 臨床開発センター シニア・クリニカル・ディベロップメント・リーダー 中村 篤 昭和48年卒</p>
<p>システムエンジニアリング(SE) 始まりは「偶然」けれど結果はいつも「必然」SEとして考えた、IT社会を生き抜くために必要な本当の知恵と行動 元日本アイ・ピー・エム 大塚 純一 昭和48年卒</p>	

## 在校生より



生徒会長  
柳川 凜

自分がどこで学び、どこに身を置くかは大変重要です。高校選びは、その第一歩だと私は思います。ここ、日比谷高校は、皆さんが様々なことにチャレンジし、充実した日々を過ごすことのできる場所です。自身の可能性を広げるために必要な環境が整っている、それが日比谷高校なのです。

勉学に打ち込むにはもちろん最適です。授業一つをとってみても、先生方の本質的な講義、友人たちとのレベルの高い議論を通じて、様々な気づきや新しい知見が得られ、学ぶことの真の面白さを実感することができます。図書館や自習室など自分に集中して自学自習に取り組める環境もあります。そして、様々な分野で活躍されている先輩

方による講演会やセミナーが行われることも日比谷ならではです。

しかし、それだけではありません。日比谷生は、限られた時間の中でメリハリをつけながら課外活動にも熱心に取り組んでいます。一芸にも二芸にも秀でた個性あふれる友人たちと共に汗と涙を流し作り上げる日比谷高校三大行事は、私たちの自慢です。勉学だけでなく部活動や行事にも全力を尽くす。それが日比谷高校であり、日比谷生です。

ここ日比谷高校で未来を切り拓こうという気概のある皆さん、勉強に励み、是非とも合格を掴み取ってください。日比谷高校で待っています！

# 進学指導重点校としての歩み

本校は、平成13年9月に東京都教育委員会より、進学指導重点校の指定を受け、さまざまな学校改革を行い、伝統的な公立進学校として前進しています。

## ■改革第1ステージ「骨太で重厚な進学校」

**独自入試：**平成13年、全国公立学校で初の独自入試を実施しました。

**45分7時限授業：**完全学校週5日制の開始に伴い、1日の授業数を45分7時限としました。これには、2時限続きの90分授業や8・9時限の授業も組み込まれています。

**補習・講習の充実：**土曜講習、および1コマ90分で5日間を1講座とする夏期講習を数多く開設しています。

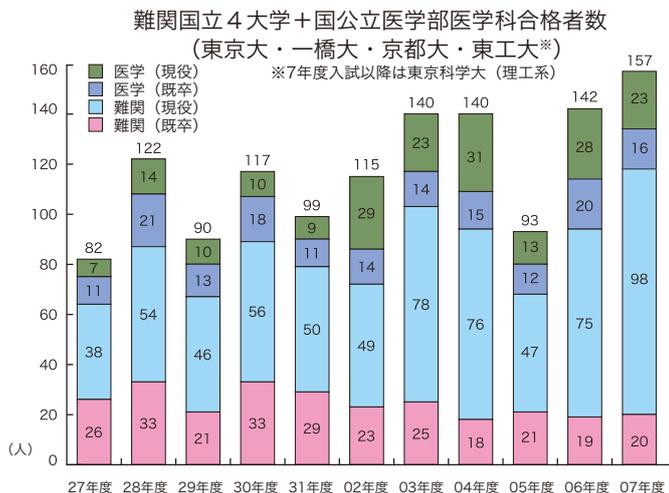
**シラバスと授業評価：**シラバスを生徒と教職員との共通の達成目標として位置付けています。また、生徒による授業評価を年2回実施し、結果を分析し課題発見の手がかりとしています。

**進路指導の充実：**3年間を見通した進路指導計画を作成し、実力テスト・全国模試・保護者会・面談・講習・進路講演会等の配置を工夫し、生徒の状況に応じた柔軟な計画・実施に努めています。

**進路指導システム：**進学指導検討会を年2回実施しています。入試・定期考査・年3回（3年生は4回）の外部全国模試等の年間の定点を設定し、成績の推移と経年比較をもとに現状分析を行っています。

**授業改革：**教員同士の授業見学により質の向上を図っています。

**星陵セミナーの実施：**新3年となる準備として、各界に第一人者として活躍する卒業生を講師に迎えた「星陵セミナー」（約20講座同時展開）を開催しています。進路探究に有効なゼミ形式の講座となっています。



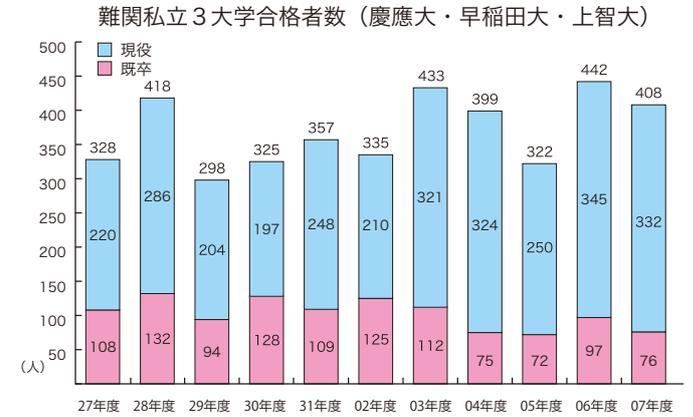
## ■改革第2ステージ「学問の本質を見極める力を培う」

**現役合格力の向上：**平成19年、飛躍的な成果を出し、数値目標をすべて達成しました。特に、難関国公立大学を含む国公立大学・難関私立大学への現役合格力が向上しました。この原動力の1つは生徒の知的好奇心の向上です。

**学問の本質の探究と自主自律の精神の涵養：**改革第1ステージの成果を維持・発展させ、進学実績を向上させるため、学問の本質的な面白さや楽しさを味わわせる授業の構築を推進しています。特に、理数教育では学力向上に資するためSSHの指定校を受け、全科目履修型・教養主義カリキュラムの中で様々な事業(特別講演会・自主探究・生物臨海実習などの野外実習・科学コンテストへの挑戦)を展開しています。これらの取組を通して、本校は、「学ぶ楽しさ」を基本として「知の創造」を目指し、知の日比谷として未来に向かって前進しています。

## ■改革第3ステージ「グローバル・リーダーの育成」

**世界とのつながり：**平成27年度、東京都教育委員会から「東京グローバル10」の指定を受け、新たな海外派遣研修である、ボストン・ニューヨーク研修を新設しました。ハーバード大、マサチューセッツ工科大訪問のほか、アスペン研究所での食料問題解決策のプレゼンテーションなど、世界に視野を向けた取組を始めました。また、韓国の学校と姉妹校を締結し、平成29年度から相互交流活動を始めました。令和4年度からは新たにGE-NET20の指定を受け、令和7年度にはTokyo Metropolitan Global Education Network School Premier 20として再指定されました。



## ■大学合格状況分析

難関国立大学や医学部医学科を志望する生徒が年々増えています。特に、東京大学への志望が高く、本年の合格者は81名(現役65名)でした。難関国立4大学と国公立医学部医学科の現役合格者数の合計は121名(防衛医大を含む)、国公立大学の現役合格者数は173名となり、ここ数年で最も高い数値となりました。近年、理系と文系の進学比率はほぼ1:1で、やや理系が文系を上回る年もあります。進学先も多岐にわたっており、理系文系にとらわれない全科目履修型の教育課程を活用した形での進路実現が増えています。

進学指導重点校・SSH・GE-NET20を背景に、今後は改革を次のステップに進化させながら、現役合格を指導の中心に置き、生徒一人一人の進路実現を図り、進学実績の向上を目指します。



# 学校説明会等の御案内

実施日程	内容	時間	会場	実施日程	内容	時間	会場
R7.7/21 (月)	学校見学会	9:30 ~ /11:00 ~	星陵会館	9/23 (火)	授業公開	※後日 web サイト でお知らせします	本校
7/22 (火)	学校見学会	9:30 ~ /11:00 ~	星陵会館	10/11 (土)	学校説明会	9:30 ~ /11:00 ~	星陵会館
7/23 (水)	学校見学会	9:30 ~ /11:00 ~	星陵会館	10/25 (土)	学校説明会	9:30 ~ /11:00 ~ 14:00 ~	星陵会館
8/13 (水)	学校見学会	9:30 ~ /11:00 ~	星陵会館	12/6 (土)	入学相談会	9:30 ~ /11:00 ~ 13:30 ~ /15:00 ~	本校
8/14 (木)	学校見学会	9:30 ~ /11:00 ~	星陵会館	R8.3/21 (土)	学校説明会	9:30 ~ /11:00 ~	星陵会館
8/15 (金)	小学生対象学校見学会	13:00 ~	星陵会館	※日程・詳細等は本校ウェブサイトでご確認ください			



校舎南側



校舎正面



体育館棟



星陵会館



勝山寮



記念資料館

## 星陵会

星陵会とは本校と本校PTAおよび同窓会等から選出された理事・評議員で運営されている公益財団法人です。

本校に隣接する星陵会館と千葉勝山寮を運営し、生徒の活動を援助しています。

百周年記念像「星陵われらあり」彫刻家 松阪節三氏(昭和26年卒業)制作

## 本校へのアクセス



「星陵われらあり」

## 東京都立日比谷高等学校

住所 〒100-0014 東京都千代田区永田町 2-16-1

電話 03 (3581) 0808

<https://www.metro.ed.jp/hibiya-h/>



表紙「日比谷」毛筆タイトル  
令和7年度2学年在学生徒作品



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。